

ヘーゲル『論理学』初版（1812年）437段落～440段落

段落	文	頁	行	原文	神山訳	寺沢訳
		151	1 2	B. Continuirliche und discrete Größe.	B. 連続した〈大きさ〉と分離した〈大きさ〉	B 連続的な大きさと離散的な大きさ
437	1		3 4	1. Die Quantität enthält die beyden Momente der Continuität und der Discretion.	一、量は、連続態と分離という二つのモメントを含んでいる。	一、量は連続性と離散性という二つの契機を含んでいる。
	2		4 5	Sie ist zunächst, <i>unmittelbare</i> Einheit derselben.	量は、いちばんはじめに、この二つのモメントの【直接的な】統一である。	量は何よりもまず両者の直接的統一である。
	3		5 6 7	Sie ist somit selbst in der Bestimmung der Continuität, und ist <i>continuirliche</i> Größe.	このことによって、量は、それ自身、連続態の規定のかたちをしており、そこで【連続した〈大きさ〉】である。	だからして量はそれ自身が連続性という規定のうちにある、かつまた連続的な大きさである。
438	1		8 9 10	Oder die Continuität ist zwar zunächst nur eins der Momente der Quantität, und die Quantität ist erst mit dem andern, der Discretion, vollendet.	詳しくいえば、次のとおりである。すなわち、たしかにいちばんはじめに、連続態は、量のモメントの一つにすぎないし、この量は、他のモメントである分離と一緒にってはじめて完結する。	換言すれば、連続性はたしかに何よりもまず量の両契機の一つにすぎず、量はもう一つの契機・すなわち離散性と一体となってはじめて完全なものになる。
	2		10 11 12 13	Aber die Continuität ist eben so wesentlich auch das Ganze; denn sie ist nur die zusammenhängende, gediegene Einheit, als Einheit des Discreten.	しかし、連続態は、同じくらい本質的に、全体でもある。というのも、連続態は、分離したものの統一として、もっぱら、つながりをもった至純な統一だからである。	けれども、連続性はまたまさに本質的に〔量の〕全体でもある。というのは、連続性は離散的なものの統一として、まとまりのある・しっかりした統一にほかならないからである。
	3		13 14 15 16 17	Die Continuität ist somit nicht nur Moment, sondern eben so sehr ganze Quantität; und diese in dieser unmittelbaren, selbst continuirlichen Einheit ist nicht so sehr Quantität, als Größe; -- also continuirliche Größe.	このことにより、連続態は、モメントであるだけでなく、同じ程度に量全体なのである。そして、こうした直接的でそれ自身連続した統一のかたちをした量は、量というよりは〈大きさ〉である。—だから、そうした量は、連続した〈大きさ〉なのである。	連続性はこうしてただ契機であるだけでなく、また同じく量の全体なのである。そしてこの直接的な・それ自身連続的な統一における量は、量であるよりもむしろ大きさである—したがって、連続的な大きさである。
439	1		18 19	2. Die <i>unmittelbare</i> Quantität ist continuirliche Größe.	二、【直接的な】量は、連続した〈大きさ〉である。	二、直接的な量は連続的な大きさである。
	2		19 20 21 22	Aber die Quantität ist überhaupt nicht ein unmittelbares; oder die Unmittelbarkeit ist eine Bestimmtheit, eine Qualität derselben, deren Aufgehobenseyn sie selbst ist.	しかし、量は、一般に、直接的なものではない。詳しくいえば、この直接態とは、規定態のことであるが、《規定態の〈廃棄されていること〉が〈大きさ〉それ自身だ」といった規定態たる質である。	だが量は一般に直接的なものではない。換言すれば、直接態は一つの規定態であり、規定態の一つの質であって、この直接態という規定態が揚棄されている存在が量そのものである。
	3		22 23 24	Sie geht also aus der Unmittelbarkeit oder Unbestimmtheit in die Bestimmtheit über; die ihr immanente Bestimmtheit aber ist das Eins.	したがって、〈大きさ〉は、その直接態である〔規定態の廃棄されている〕無規定態から、規定態へと移行するが、〈大きさ〉に内在的な規定態は、〈一つ〉である。	したがって量は、直接態あるいは無規定態から規定態へと移行する。しかし量に内在的な規定態は一である。

ヘーゲル『論理学』初版（1812年）437段落～440段落

	4		24 -- Oder die un- 25 mittelbare Quantität, die continuirliche Größe, ist nicht 26 die <i>Quantität als solche</i> , sondern als <i>bestimm-</i> 27 <i>te</i> ; aber die wahrhafte Bestimmtheit derselben ist das 28 Eins, und die Quantität ist als <i>discrete Größe</i> .	—いいかえれば、直接的な量である連続する〈大きさ〉は、〔連続態と分離の統一である〕【量そのもの】ではなく、むしろ【規定されたもの】としての【量】である。しかし、〈大きさ〉の真の規定態は、〈一つ〉であり、そこで、量は、【分離した〈大きさ〉】としてある。	—換言すれば、直接的な量すなわち連続的な大きさは、量そのものではなくて、規定されたものとしての量である。だが量の真の規定態は一であり、こうして量は離散的な大きさとしてある。
440	1	152	1 Die Discretion ist überhaupt Moment der Quanti- 2 tät, aber ist selbst auch die ganze Quantität, weil diese 3 wesentlich vermittelt, negativ in sich selbst, in der Be- 4 stimmtheit des Eins ist, eine zunächst unbestimmte Viel- 5 heit von Eins.	分離は、一般に、量のモメントであるが、それ自身は、量全体でもある。量は、本質的に媒介されて、否定的にみずから自身のうちにあり、〈一つ〉という規定態のかたちをしているのだから、いちばんはじめは、〈一つ〉の無規定な多態である。	離散性は一般に量の契機であるが、しかしそれ自身が量の全体でもある、というのは量は本質的に媒介されており・自己自身において否定的であり・一という規定態のうちにあり・一の何よりもまず無規定的な数多性であるからである。
	2		5 Die Quantität ist Aussereinanderseyn, 6 und die continuirliche Größe ist diß Aussereinanderseyn, 7 als sich ohne Negation fortsetzend, als ein in sich selbst 8 gleicher Zusammenhang.	量は、〈たがいに外にあること〉であり、そして、連続した〈大きさ〉は、否定ぬぎに継続するものとして、みずから自身のうちで同等な〈つながり〉として〈たがいに外にあること〉である。	量は相互外在的存在である、そして連続的な大きさは、否定なしに自己を継続させるものとしての・自己自身において相等的な連関としての相互外在的存在である。
	3		8 Die discrete Größe ist diß Aus- 9 sereinander als nicht continuirlich, als unterbrochen.	分離した〈大きさ〉は、連続してではなく、中断したものとして、このように〈たがいに外に〉ある。	離散的な大きさは、連続的でなく・中断されたものとしてのこの相互外在である。
	4		10 Mit dieser Menge von Eins aber ist nicht die Menge 11 des Atomen, und das Leere wieder vorhanden.	しかし、このような多数の〈一つ〉によって現前するのは、多数の原子でもないし、空虚でもない。	しかし、一のこの集合とともに、原子の集合と空虚なものがふたたび現存するのではない。
	5		11 Son- 12 dern weil die discrete Größe Quantität ist, ist die in ihr 13 aufgehobene Continuität selbst continuirlich.	むしろ、分離した〈大きさ〉が量なのだから、分離した〈大きさ〉で廃棄された連続態が、それ自身連続しているのである。	そうではなくて、離散的な大きさは量であるから、離散的な大きさのなかで揚棄された連続性そのものが連続的なのである。
	6		13 Diese Con- 14 tinuität am Discreten besteht darin, daß die Eins das 15 einander gleiche sind, oder daß sie dieselbe <i>Einheit</i> 16 haben.	分離したもののもとにあるこうした連続態の実質は、《もろもろの〈一つ〉が〈たがいに同じ一つ〉であること》、いいかえれば、《もろもろの〈一つ〉が同じ【統一】を持つこと》にある。	離散性のもとでのこの連続性とは、もろもろの一が相互に等しいものであるということ・換言すれば、もろもろの一が同一の単位をもつということにある。
	7		16 Die discrete Größe ist also das Aussereinander 17 des vielen Eins, <i>als des Gleichen</i> , nicht das viele 18 Eins überhaupt, sondern als das <i>Viele einer Ein-</i> 19 <i>heit</i> .	したがって、分離した〈大きさ〉は、〈多くの一つ〉が【同じものとして】〈たがいの外にあること〉であり、一般に〈多くの一つ〉ではなくて、【一つの統一がもつ多】として〈多くの一つ〉なのである。	したがって離散的な大きさは〔たがいに〕等しいものとしての多くの一の相互外在であり、多くの一一般ではなく、ひとつの単位の多〔すなわち、同一の単位が多数あつまったもの〕としてある。